

審議事項

○新たな基準の導入に対する評価

<p>テーマ名</p>	<p>高温省エネ型焼却炉の新基準導入</p>
<p>所管部署</p>	<p>計画調整部 技術開発課</p>
<p>目的</p>	<p>第二世代型焼却炉より電力使用量の削減効果に優れた焼却炉の開発・導入が進んでおり、更なる電力使用量の削減を示す新たな基準の設定が必要になったため、高温省エネ型焼却炉の新基準（第 2.1 世代型焼却炉）を設定する。</p> <p>今後は、電力使用量を第二世代型焼却炉より更に削減した新基準を運用することで、地球温暖化対策、省エネルギーの向上及び維持管理費の低減に寄与していく。</p>
<p>内容</p>	<p>【背景】</p> <p>当局は、地球温暖化対策として、汚泥焼却工程で発生する温室効果ガスに関しては、脱水汚泥を高温で焼却することで一酸化二窒素(N₂O)排出量を削減できる高温燃焼焼却炉（第一世代型焼却炉）や、電力、補助燃料の使用量を削減することで二酸化炭素(CO₂)排出量を削減できる高温省エネ型焼却炉（第二世代型焼却炉）の開発・導入を進めてきた。</p> <p>その中で、第二世代型焼却炉より電力使用量の削減効果が優れた焼却炉の開発、実機導入が進んでいる状況を受けて、高温省エネ型焼却炉の新基準（第 2.1 世代型焼却炉）を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">高温省エネ型焼却炉（第二世代型焼却炉）</p> <p style="text-align: center;">第一世代型焼却炉（高温燃焼焼却炉）に比べて</p> <p style="text-align: center;">N₂O 削減率 50%以上</p> <p style="text-align: center;">CO₂ 削減率（電力由来+補助燃料由来）20%以上</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>・電力使用量の削減効果に優れた焼却炉の開発、導入</p> <p>・脱水機の技術進歩に伴う脱水汚泥含水率の低下</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">高温省エネ型焼却炉新基準（第 2.1 世代型焼却炉）</p> <p style="text-align: center;">第一世代型焼却炉（高温燃焼燃焼炉）に比べて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N₂O 削減率 50%以上 [排出原単位 1.15kg-N₂O/t-DS 以下] ・ 電力由来 CO₂ 削減率 40%以上 [使用量原単位 161kWh/t-DS 以下] ・ 補助燃料由来 CO₂ 削減率 20%以上 [使用量原単位 40 Nm³/t-DS 以下] <p style="text-align: center;">（ただし脱水汚泥が自燃する時の削減率は 100%）</p> </div>
<p>審議結果</p>	<p>新たな基準の導入を了承する。</p>
<p>新基準適合</p>	<p>① ストーカ炉……………（株式会社タクマ）</p> <p>② ターボ型流動炉……………（月島機械株式会社）</p> <p>③ タービン多層型流動炉…（メタウォーター株式会社）</p> <p>④ タービンガス化炉……………（メタウォーター株式会社）</p>
<p>備考</p>	